



2019年1月期 決算説明会資料

第66期／2018年2月1日～2019年1月31日

クロスプラス株式会社 (証券コード 3320)



目次



1. 2019年1月期 決算概況	2
2. 中期経営計画	14
3. 2020年1月期 計画	25
Appendix	29

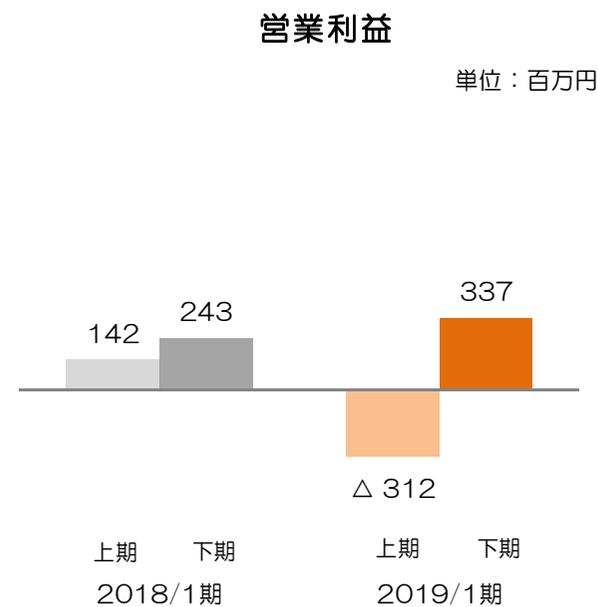
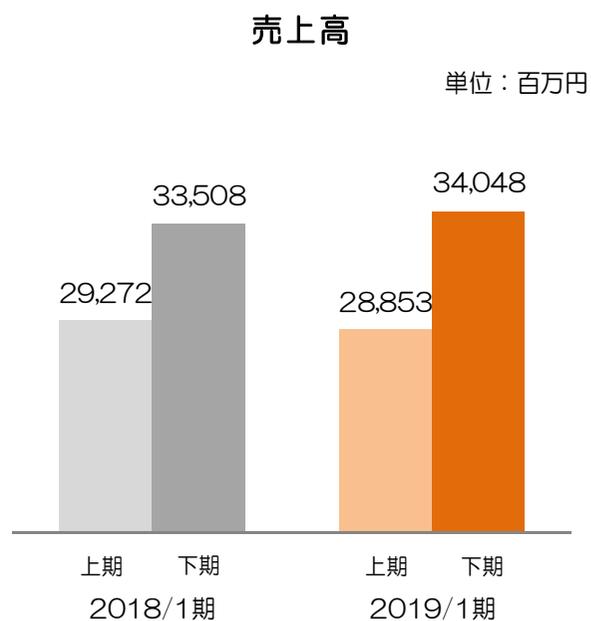


1. 2019年1月期 決算概況



2019年1月期 決算総括

- 通期は売上高は横ばい、営業利益は減益
- 上期は苦戦するも、下期は改善傾向



【連結】 2019年1月期 損益計算書



単位：百万円

	2018/1期			2019/1期							
	上期	下期	通期	上期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	期初予想 (2018年 3月16日発表)	修正予想 (2018年 12月14日発表)
売上高	29,272	33,508	62,780	28,853	98.6%	34,048	101.6%	62,901	100.2%	65,000	63,000
売上総利益	6,030	6,439	12,469	5,550	92.0%	6,626	102.9%	12,176	97.7%	13,100	-
販管費	5,888	6,195	12,083	5,862	99.6%	6,289	101.5%	12,151	100.6%	12,600	-
営業利益	142	243	385	△ 312	-	337	138.7%	25	6.5%	500	0
経常利益	218	308	526	△ 203	-	441	143.2%	238	45.2%	600	150
当期純利益	213	453	666	△ 226	-	549	121.2%	323	48.5%	500	150

● 売上対策

- (1) 低価格商品への対応……………早期受注による価格対応力強化とアセアンシフト
- (2) 専門店向け販路拡大……………ボトム、アウターを中心に売上拡大
- (3) ブランドコーナーの拡大…30店舗増、商品投入の精度アップによる利益改善

● 利益対策

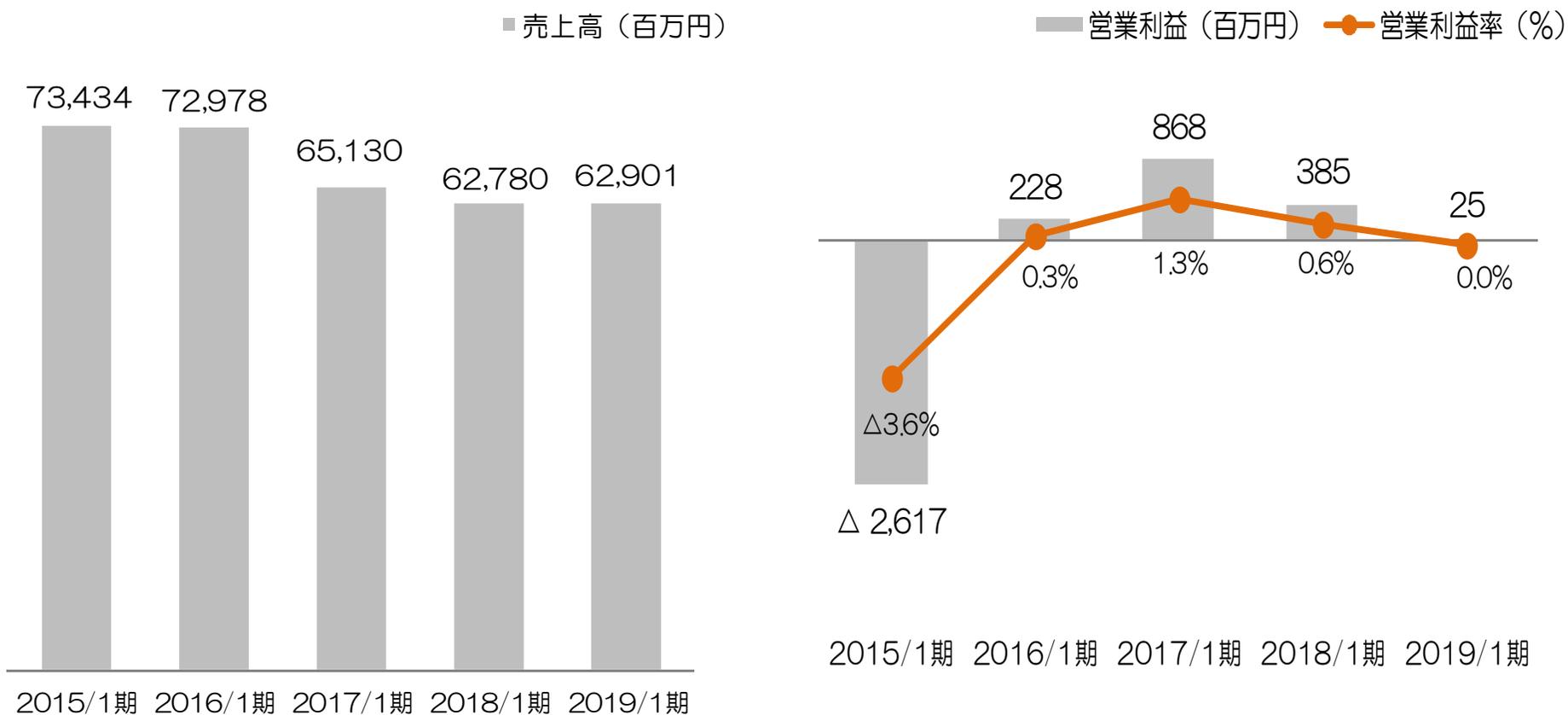
- (1) 主力工場の見直し……………アセアン生産の拡大に伴い主力工場を見直し
- (2) 不良品の削減……………製造工程中の早期不良品発見を強化

● グループ会社の収益改善

- ・ (株) サードオフィスのPMI※によるコスト削減
- ・ (株) 中初のグループ化
- ・ スタイリンク (株) の解散

※PMI : Post Merger Integration (M&A成立後の統合プロセス)

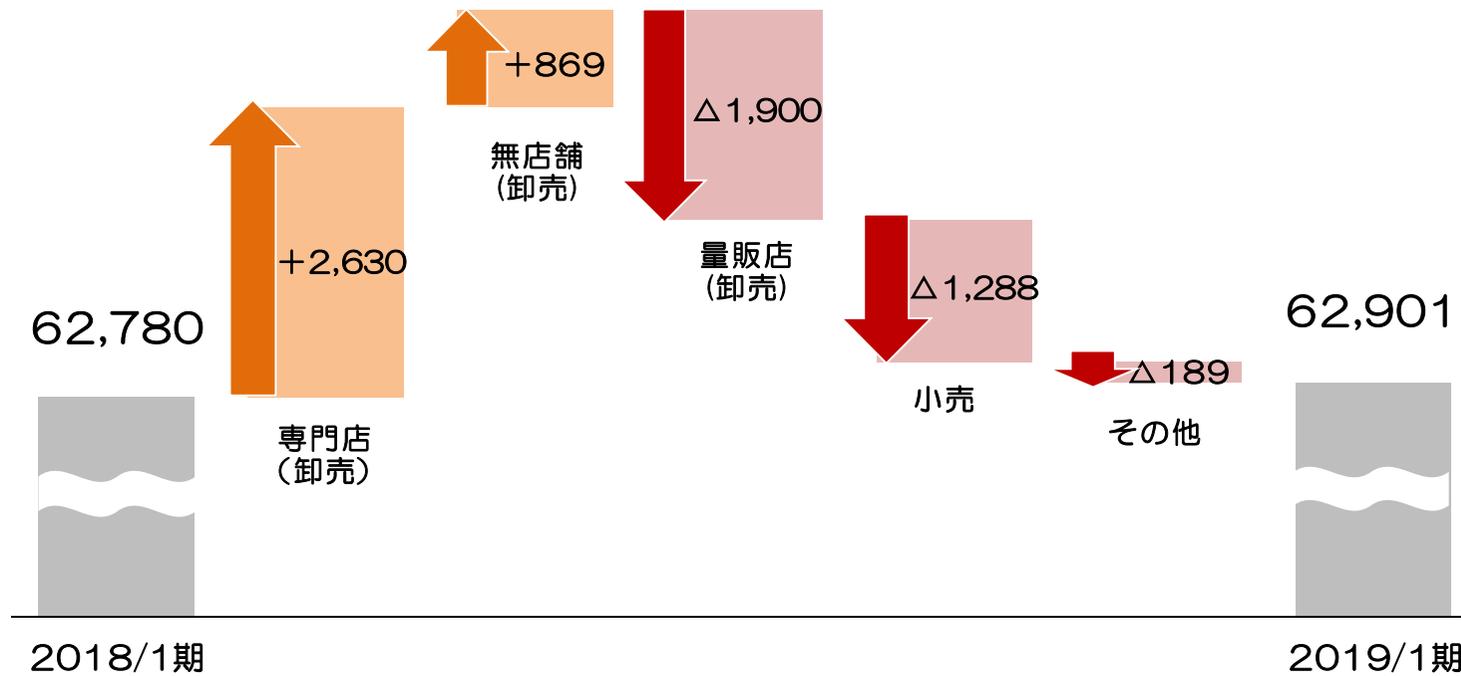
【連結】 売上高・営業利益の推移



【連結】売上高の増減要因

- 新規販路の拡大を進め専門店売上が増加

単位：百万円



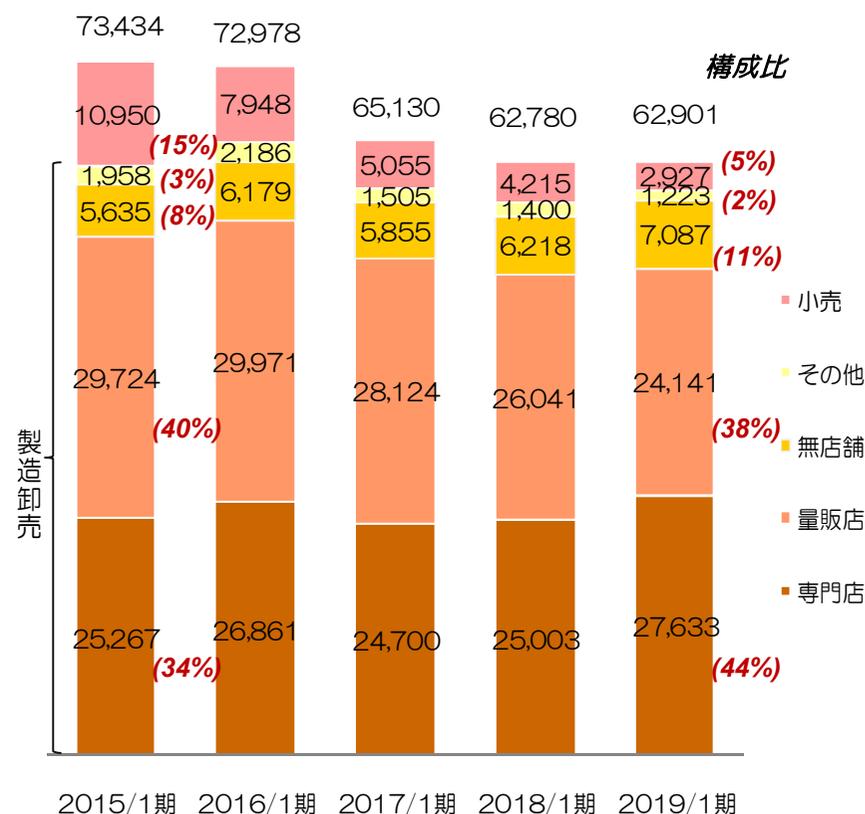
【連結】販売チャネル別売上高実績



単位：百万円

		2018/1期	2019/1期		
				前年差額	前年比
製造卸売	専門店	25,003	27,633	2,630	110.5%
	量販店	26,041	24,141	△ 1,900	92.7%
	無店舗	6,218	7,087	869	114.0%
	その他	1,400	1,223	△ 177	87.4%
	小計	58,664	60,086	1,422	102.4%
	小売	4,215	2,927	△ 1,288	69.4%
	他・消去	△ 99	△ 111	△ 12	-
	合計	62,780	62,901	121	100.2%

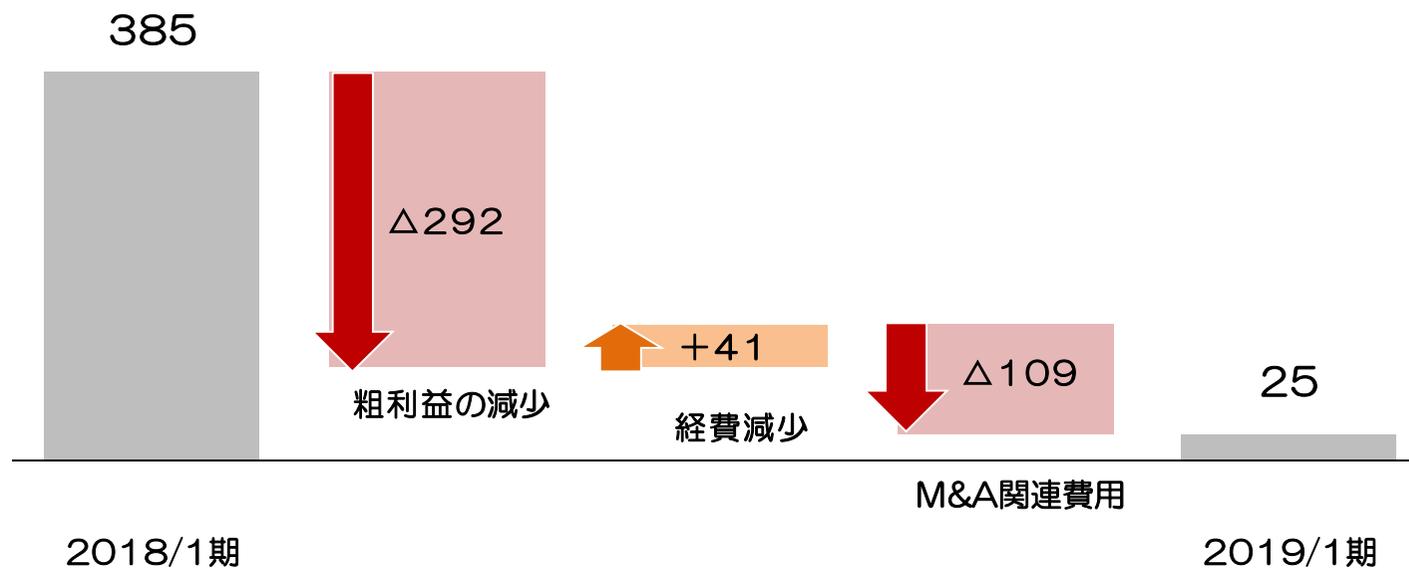
単位：百万円



【連結】 営業利益の増減要因

- 販売単価の低下により粗利率低下

単位：百万円

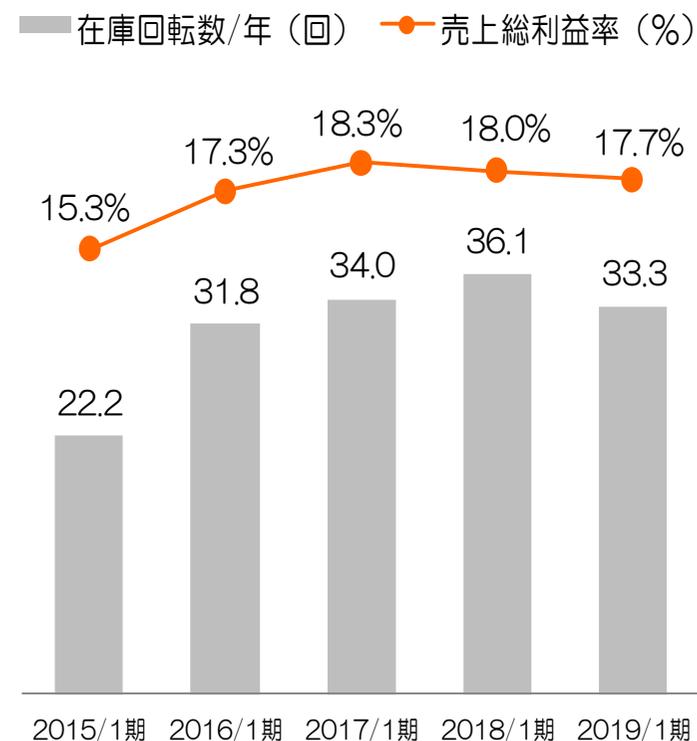


製造卸売部門（国内）実績



単位：百万円

	2018/1期	2019/1期		
			前年差額	前年比
売上高	58,168	59,604	1,436	102.5%
売上総利益率	18.0%	17.7%	△0.3%	98.3%
販売単価	1,132円	1,117円	△15円	98.7%
仕入単価	915円	895円	△20円	97.8%
販売枚数	5,138万枚	5,333万枚	195万枚	103.8%
在庫回転数/年	36.1回転	33.3回転	△2.8回転	92.2%
期末在庫	1,487	1,835	348	123.4%



（注）製造卸売（国内）＝クロスプラス卸売＋スタイリンク（株）＋（株）サードオフィス＋（株）中初
 （（株）サードオフィス及び（株）中初は2019/1期にグループ化したため2019/1期のみ）

在庫回転数＝売上高÷（（期首在庫＋期末在庫）÷2）

【連結】会社別実績



単位：百万円

	売上高				営業利益			
	2018/1期	2019/1期		2018/1期	2019/1期		前年差額	前年比
			前年差額		前年比			
クロスプラス（株）	60,013	57,667	△ 2,346	96.1%	490	197	△ 293	40.2%
スタイリンク（株）	2,370	976	△ 1,394	41.2%	△ 91	△ 104	△ 13	-
上海服飾整理有限公司	496	396	△ 100	79.8%	19	25	6	131.6%
（株）サードオフィス	-	3,448	-	-	-	22	-	-
（株）中初	-	523	-	-	-	19	-	-
（株）ディスカバリープラス	-	62	-	-	-	△ 35	-	-
連結調整	△ 99	△ 173	-	-	△ 33	△ 99	-	-
連結	62,870	62,901	31	100.0%	385	25	△ 360	6.5%

（注）（株）サードオフィスは2018年2月1日にグループ化したため2018/1期の実績値はなし

（注）（株）中初は2018年9月14日にグループ化したため、2019/1期は約4か月間の数値

（注）（株）ディスカバリープラスは2019/1期より連結対象

【連結】貸借対照表・指標



単位：百万円

	2018/1期		2019/1期 2Q		2019/1期		
		構成比		構成比		構成比	差額 (2018年 1月末比)
流動資産	20,033	68.5%	17,429	64.7%	18,948	67.2%	△ 1,085
現預金	4,243	14.5%	3,821	14.2%	4,226	15.0%	△ 17
受取手形及び売掛金	13,213	45.2%	10,969	40.7%	11,822	42.0%	△ 1,391
商品	1,901	6.5%	1,834	6.8%	2,173	7.7%	272
固定資産	9,230	31.5%	9,516	35.3%	9,212	32.7%	△ 18
有形固定資産	4,084	14.0%	4,097	15.2%	4,171	14.8%	87
投資有価証券	4,535	15.5%	4,544	16.9%	4,051	14.4%	△ 484
繰延資産	-	-	-	-	17	0.1%	-
資産合計	29,264	100.0%	26,946	100.0%	28,178	100.0%	△ 1,086
負債合計	17,481	59.7%	15,084	56.0%	16,396	58.2%	△ 1,085
支払手形及び買掛金	9,665	33.0%	7,535	28.0%	8,782	31.2%	△ 883
有利子負債	3,680	12.6%	4,120	15.3%	3,905	13.9%	225
純資産合計	11,782	40.3%	11,861	44.0%	11,781	41.8%	△ 1
株主資本	10,344	35.3%	10,098	37.5%	10,626	37.7%	282
1株当たり純資産 (BPS)	1608.38円		1618.07円		1606.81円		△1.57円
1株当たり純利益 (EPS)	91.14円		-30.98円		44.22円		△46.92円
自己資本比率	40.2%		44.0%		41.7%		1.5%
株主資本利益率 (ROE)	5.9%		-1.9%		2.8%		△3.1%
総資産利益率 (ROA)	1.8%		-0.7%		0.8%		△1.0%

【連結】キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

	2018/1期	2019/1期	
			前年差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 799	743	1,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 157	△ 123
財務活動によるキャッシュ・フロー	422	△ 637	△ 1,059
現金及び現金同等物の増減	△ 410	△ 45	365
現金及び現金同等物の期末残高	4,009	3,964	△ 45
減価償却費(のれん償却額含む)	197	247	50
設備投資	84	273	189



2. 中期経営計画



1. 将来像

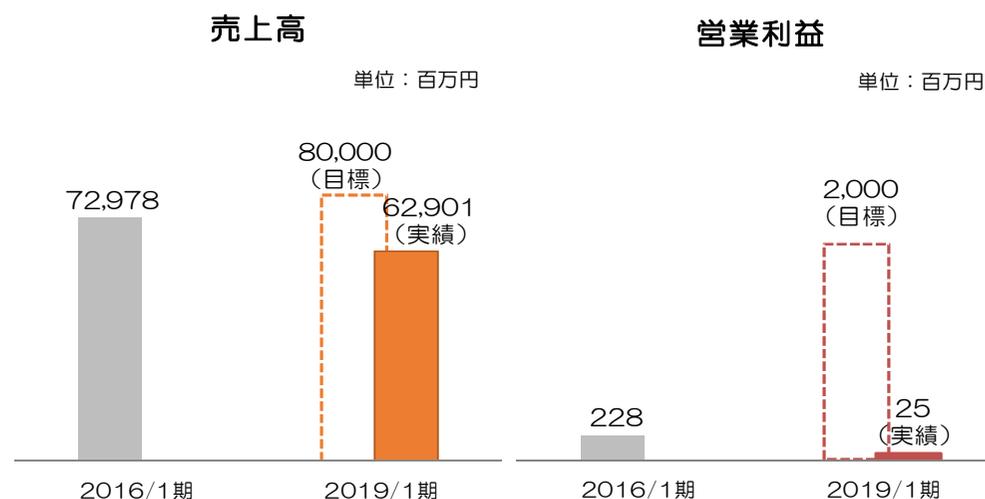
アパレル業界No.1のプラットフォーム企業

2. 中期経営計画

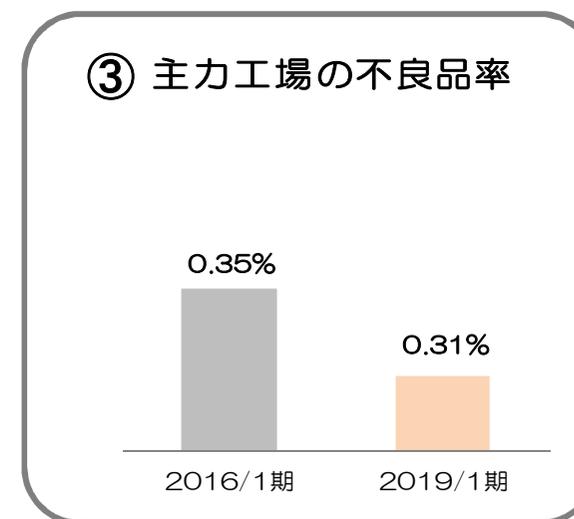
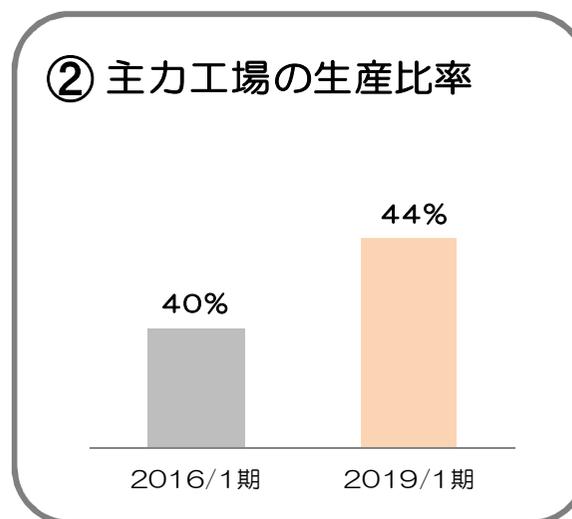
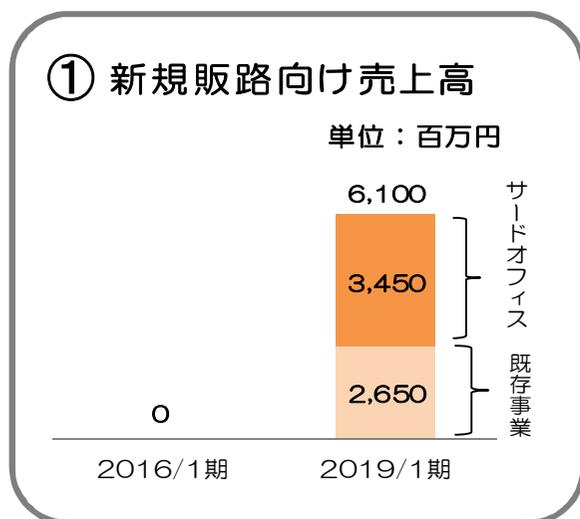
(1) 目標 製造卸売事業の安定した収益基盤の確立

(2) 基本方針

- ①新規販路の拡大
- ②生産基盤の再構築
- ③経営管理基盤の強化



- 市場の低価格化と生産環境の悪化の影響で、中期経営計画は未達
- 新規販路向け売上高は目標100億円に対して61億円 (図①)
- 工場集約と不良品率の削減は進むも、生産拠点はアセアンにシフト (図②,③)

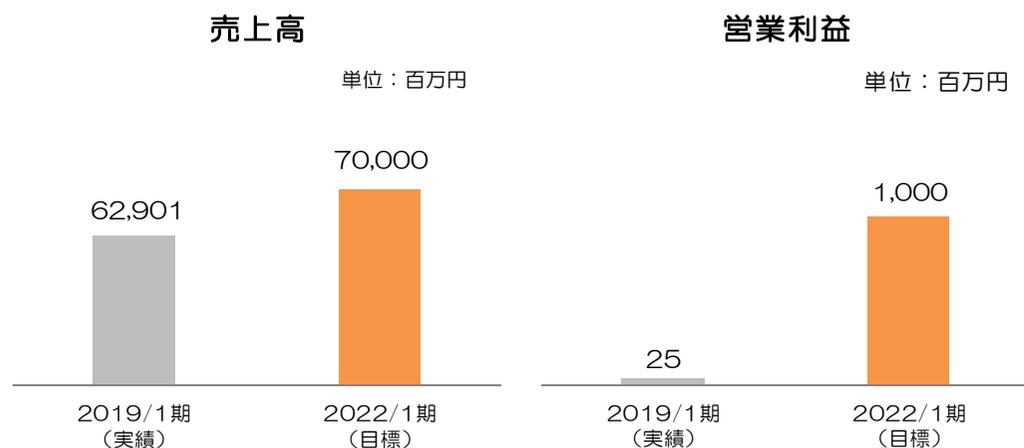


■ 中期経営計画

1. 戦略 創る力 × α

（創る力をベースに業態・機能を掛け合わせる）

2. 数値目標 売上高700億円 営業利益10億円



戦略 創る力 × α

方針

(1) 新業態の確立

- ① ECの強化
- ② ブランドビジネスの拡大

(2) アパレルの機能強化

- ① 専門店販路の拡大
- ② 商品企画機能の強化
- ③ 生産管理の強化

(3) 事業領域の拡大

- ① アパレル事業のM&A
- ② 非アパレル事業

(1) 新業態の確立

① ECの強化

- オンラインショップの統合、リニューアル
- EC専用ブランド「N.O.R.C」の立ち上げ
- EC 専門部署に人材集約

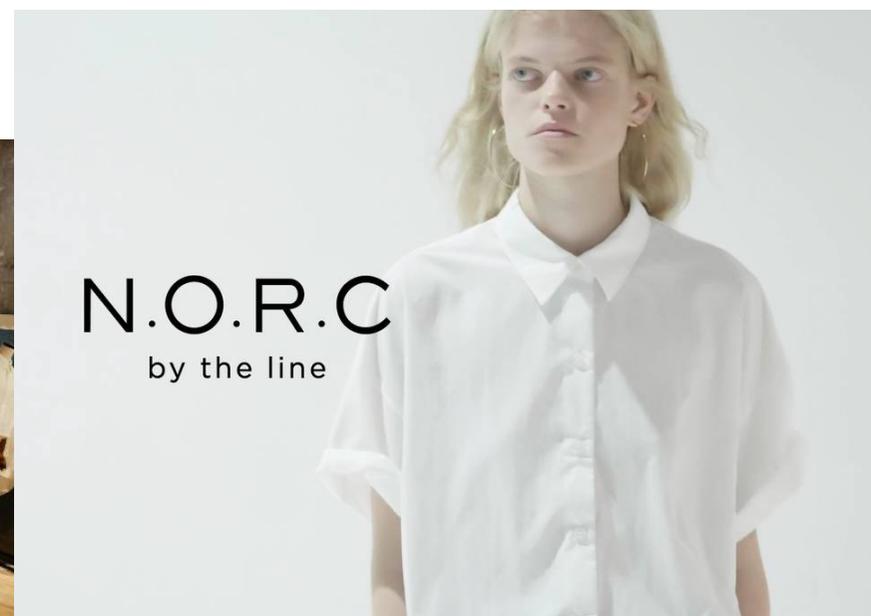
② ブランドビジネスの拡大

- ブランドコーナーの出店
- 地域対応による収益強化

ECの強化 - D2C業態「N.O.R.C」 -



- D2C業態「N.O.R.C」を2月に立ち上げ、順調なスタート
- プロデューサー、ディレクターを外部から起用



(2) アパレルの機能強化

- ① 専門店販路の拡大
 - ・グループ会社を含めた組織再編
 - ・主力先の深堀と新規先の開拓

- ② 商品企画機能の強化
 - ・商品開発にAIを導入
 - ・アパレル機能を売るサービス

- ③ 生産管理の強化
 - ・アセアン生産の拡大
 - ・主力工場管理強化

(3) 事業領域の拡大

① アパレル事業のM&A

- ・ グループシナジーの創出
- ・ 商品、販路を含めた事業領域の拡大

② 非アパレル事業

- ・ (株) ディスカバリープラスの収益化

事業領域の拡大



(株) サードオフィス

- 2018年2月にグループ化
- メンズを主力とした専門店へのODM、OEM事業

(株) 中初

- 2018年9月にグループ化
- レディースの帽子を中心とした製造卸売事業



(株) ディスカバリープラス

- 2017年6月に設立
- FC事業及び児童発達支援事業

今までは財務体質の強化を優先してきましたが、

今後は株主還元を強化していきます。

中期経営計画において、配当性向30%を目指します。



3. 2020年1月期 計画



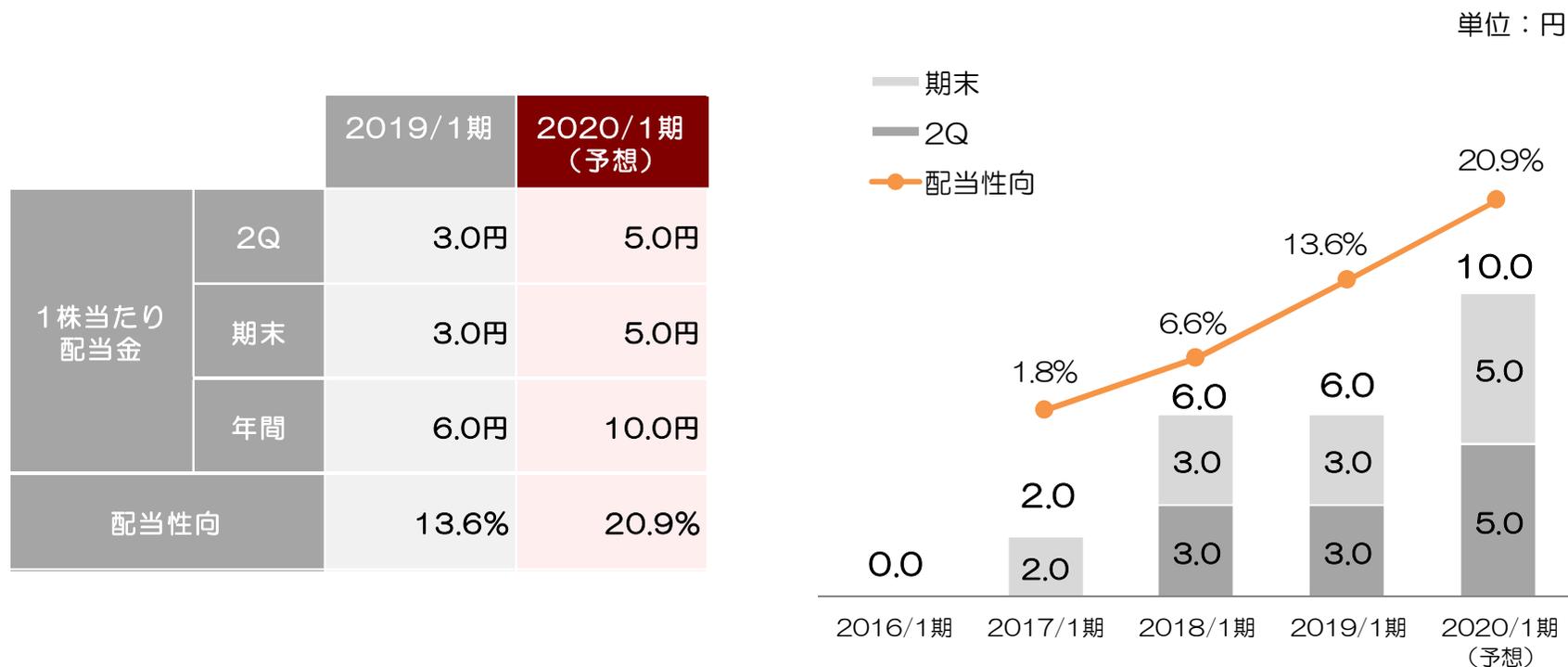
【連結】2020年1月期 計画



単位：百万円

	2019/1期			2020/1期（予想）					
	上期	下期	通期	上期	下期		通期		
					前年比	前年比	前年比	前年比	
売上高	28,853	34,048	62,901	29,300	101.5%	34,700	101.9%	64,000	101.7%
売上総利益	5,550	6,626	12,176	5,900	106.3%	7,100	107.2%	13,000	106.8%
販管費	5,862	6,289	12,151	6,100	104.1%	6,600	104.9%	12,700	104.5%
営業利益	△ 312	337	25	△ 200	-	500	148.4%	300	-
経常利益	△ 203	441	238	△ 150	-	550	124.7%	400	168.1%
当期純利益	△ 226	549	323	△ 150	-	500	91.1%	350	108.4%

- 2020年1月期の1株当たり配当金は、10円を予想。





CROSS PLUS



CROSS PLUS



Appendix



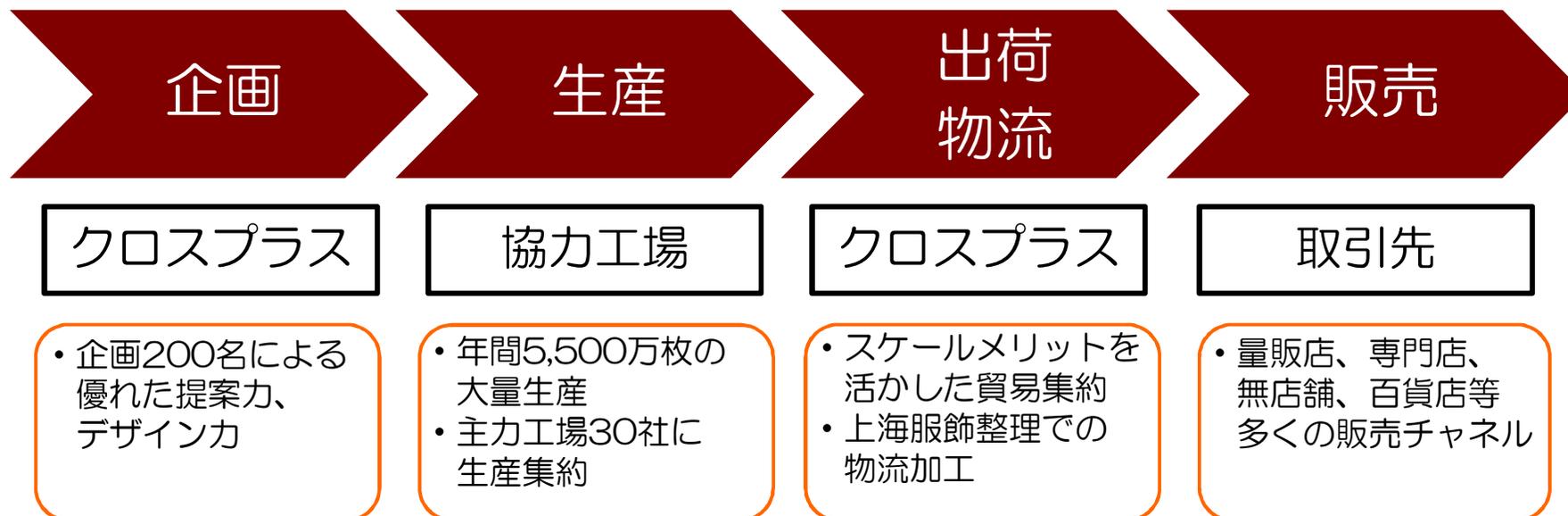
商号	クロスプラス株式会社
設立	1953年4月
本社	名古屋市西区花の木三丁目9番13号
代表者	山本 大寛
従業員数	<連結>748名 <単体>606名 (2019年1月31日現在)
資本金	1,944百万円 (2019年1月31日現在)
発行株式数	7,718,800株 (2019年1月31日現在)
事業内容	婦人服、子供服の企画、製造、及び全国の量販店、専門店等への販売
連結子会社	(株)サードオフィス、(株)中初 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司、(株)ディスカバリープラス

- 1951年 婦人ブラウスの製造卸売を目的として櫻屋商店を創業
- 1953年 櫻屋商店を改組し櫻屋商事（株）を設立
- 2001年 「クロスプラス」へ社名変更
- 2002年 スタイリンク（株）を設立
- 2004年 東証二部・名証二部に株式上場
- 2005年 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司を設立
- 2006年 （株）ヴェントインターナショナルを子会社化
- 2015年 （株）ヴェントインターナショナルの事業譲渡
- 2017年 （株）ディスカバリープラスを設立
- 2018年 （株）サードオフィスを子会社化
（株）中初を子会社化
- 2019年 スタイリンク（株）を解散

アパレル事業の内容と特徴



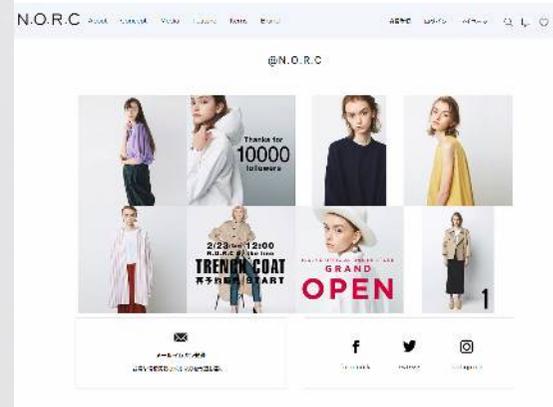
	会社	事業内容
製造卸売	クロスプラス（株）	レディース、キッズ、雑貨を専門店をはじめ全てのチャネルへ製造卸売
	（株）サードオフィス	メンズを主力に専門店のOEM・ODM
	（株）中初	レディースの帽子を中心とした製造卸売
	上海服飾整理有限公司	中国での自社商品の検品・検針・物流加工
小売	クロスプラス（株）	百貨店、ファッションビルでのプレタゾーン（ジュンコシマダ）、ヤングマインドカジュアルゾーン（アツロウタヤマ）のSPA



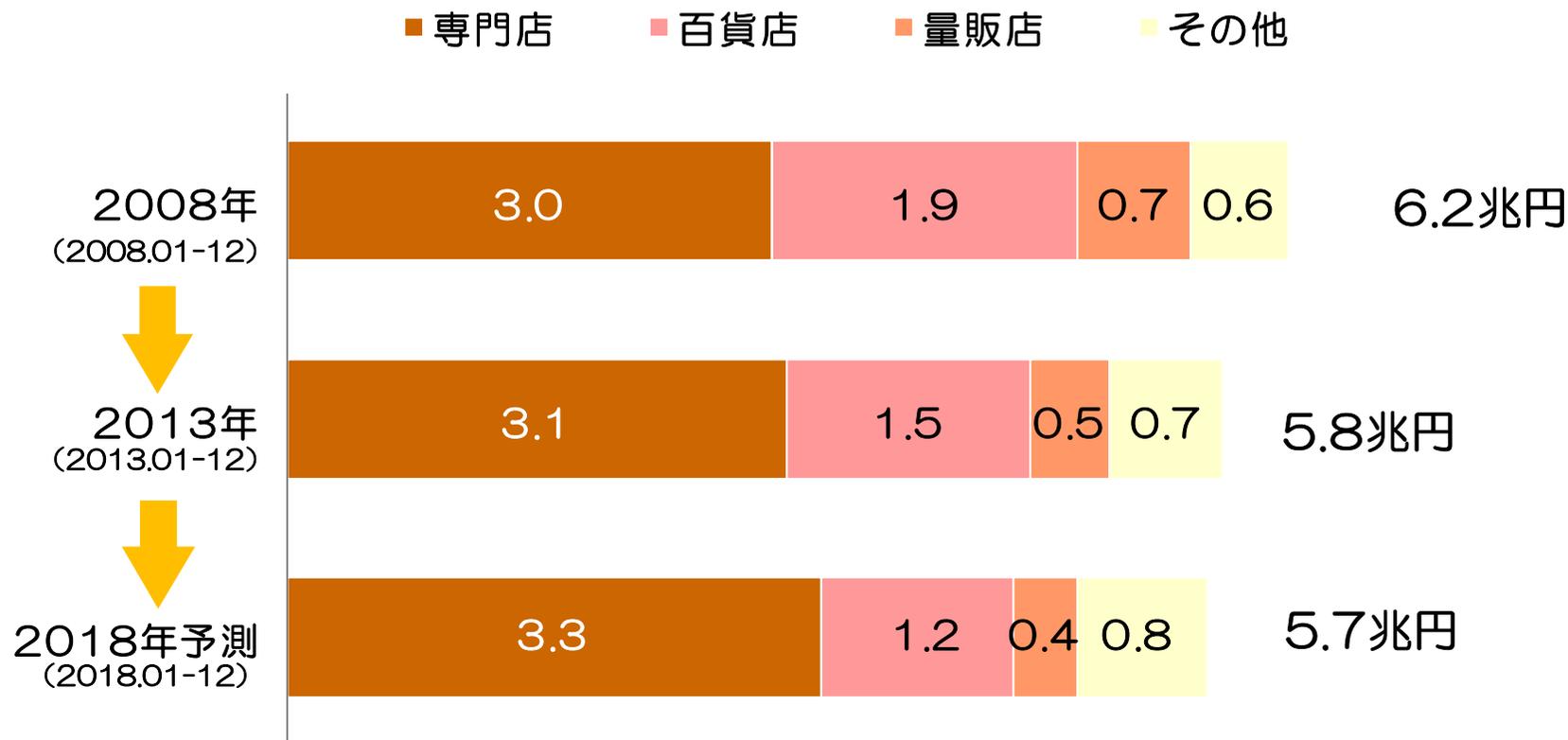
企画・生産・納品までを
一気通貫管理

製造卸売の販売チャネル

販売チャネル	売場
量販店	ブランドコーナー
	PB
	平場
専門店	ファッションビル
	ショッピングセンター
	ロードサイド
無店舗	オンラインショップ
	TVショッピング



婦人服市場規模



(注) 国内婦人服・洋品の小売金額ベース、2018年は予測値（2018年9月現在）、百貨店および量販店チャネルは経済産業省「商業販売統計」をもとに推計 表示桁未満四捨五入

出所：矢野経済研究所「アパレル産業白書2014、2018」

【単体卸売事業】 婦人アパレル業界でのポジション



婦人アパレル売上高（2017年度）

単位：百万円

順位	社名	売上高
1	オンワードホールディングス（※）	141,747
2	T S Iホールディングス（※）	109,308
3	クロスプラス（※）	59,366
4	ジュン（※）	49,358
5	イトキン（※）	45,225
6	ルックホールディングス（※）	42,315
7	ファイブフォックス（※）	40,691
8	三陽商会	37,100
9	4℃ホールディングス（※）	35,838
10	タキヒョー	32,592

（※）連結またはグループ合算

出所：織研新聞 2018年8月1日

- 本資料は、当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性があります。
- また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

お問い合わせ先

クロスプラス株式会社 経営企画室

TEL : 052-532-2211 (代表)

e-mail : ir-info@crossplus.co.jp